



☆入賞おめでとう☆

水茎 競	フォトコン誌	2月号	自由作品の部	入選	(今昔物語)
水茎 競	日本カメラ誌	2月号	カラープリント	銅賞	(夢の跡)
岩城 治	フォトコン誌	2月号	自由作品の部	特選	(二面相)
伊藤広志	日本カメラ誌	2月号	カラーズライド	銅賞	(若者の街)
岩田 進	日本カメラ誌	2月号	カラーズライド	銅賞	(団地)
中山義久	キャンサークル誌	2月号	マスターズ	佳作	(急ぐ)
西田隆雄	キャンサークル誌	2月号	オープンクラスモノクロ	シルバー	(見物席)
井上修一	キャンサークル誌	2月号	マスターズ	佳作	(春を駆ける)
井上修一	アサヒカメラ誌	3月号	カラープリント	5位	(野球少年)
高橋一郎	キャンサークル誌	2月号	マスターズ	シルバー	(夏の日)
高橋一郎	アサヒカメラ誌	3月号	モノクロプリント	5位	(裏町)
高橋一郎	国際サロン	第71回		入選	(擁壁)
高橋一郎	キャンサークル誌	1月号	特集 掲載		
野呂 彰	フォトコン誌	1月号	特集 掲載		

☆入賞作品から☆

日本カメラ誌 12月号 金賞 (カップル席) 伊藤広志



上手にはい上る浴衣姿の女性を、よいしょと後押しする男性。それを見守る人たちの優しい眼差しは、こころよい夏のイメージをかりたててくれる。ワイドレンズの効果も表れ、空の青さ、雲の状況、両サイドのカップルの感覚といい、若者たちの生姿を垣間見るようである。この場面は、何人かが集っていたようだが、上手にワイドレン

ズを使いこなしたこの作品に軍配が上がった。何ミリのレンズで勝負するかは、大切な表現手段の一つだ。「私はこれでゆく」ぐらいの気概を持って被写体に臨み、撮影位置と距離を身体で測りながら撮ってこそが、作品の楽しみであり、醍醐味であることと忘れないで欲しい。被写体に引きずられない強い意志で!

アサヒカメラ誌 12月号



[3位]初夏の頃◎井上修一(枚方市・41歳)

リコーGX200・5.1~15.3^{mm} (35^{mm}判換算24~72^{mm}) F2.5~4.4・ISOオート・プログラムAE・キヤノンPro9000 (写団くろねこ)

手前や後方の人をまるで配置して撮ったような写真で、不思議さを感じられます。でも実はそうでないところに、この写真の現実味があるのです。遠くの人物を意識しながら、娘さんと息子さんを自然にスナップした感じがいい。ただ、息子さんが重なりすぎているのが残念です。バランスを考えてもう少し右から撮ったほうがよいようです。撮る側のわずかな移動こそ、スナップの重要なポイントです。

☀ 撮影ガイド ☀

1/9⑩ ~ 1/11⑩ 今宮戎
JR環状線 新今宮下車

★ 撮影会のお知らせ ★

1月9日(日) 神戸 消防出初め式 JR元町 下車
現地 10:00集合 長尾発8:24

第15回 写団くろねこ 写真展	
来場者数	12/3 72
	4 100
	5 140
	6 82
	7 58
	8 59
	合計 511人